

**SebArt** professional line

# Mig29 3D-EDF ARF

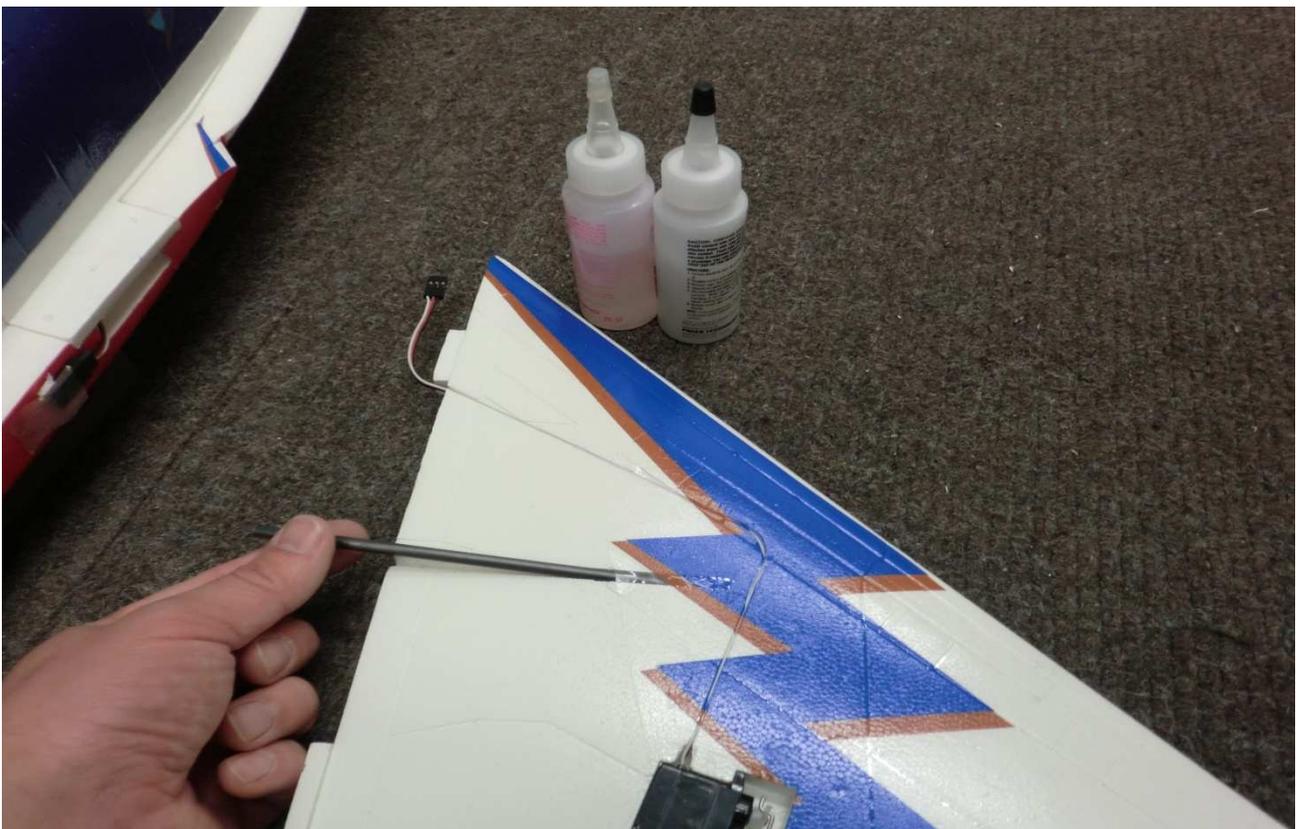
INSTALLATION INSTRUCTION



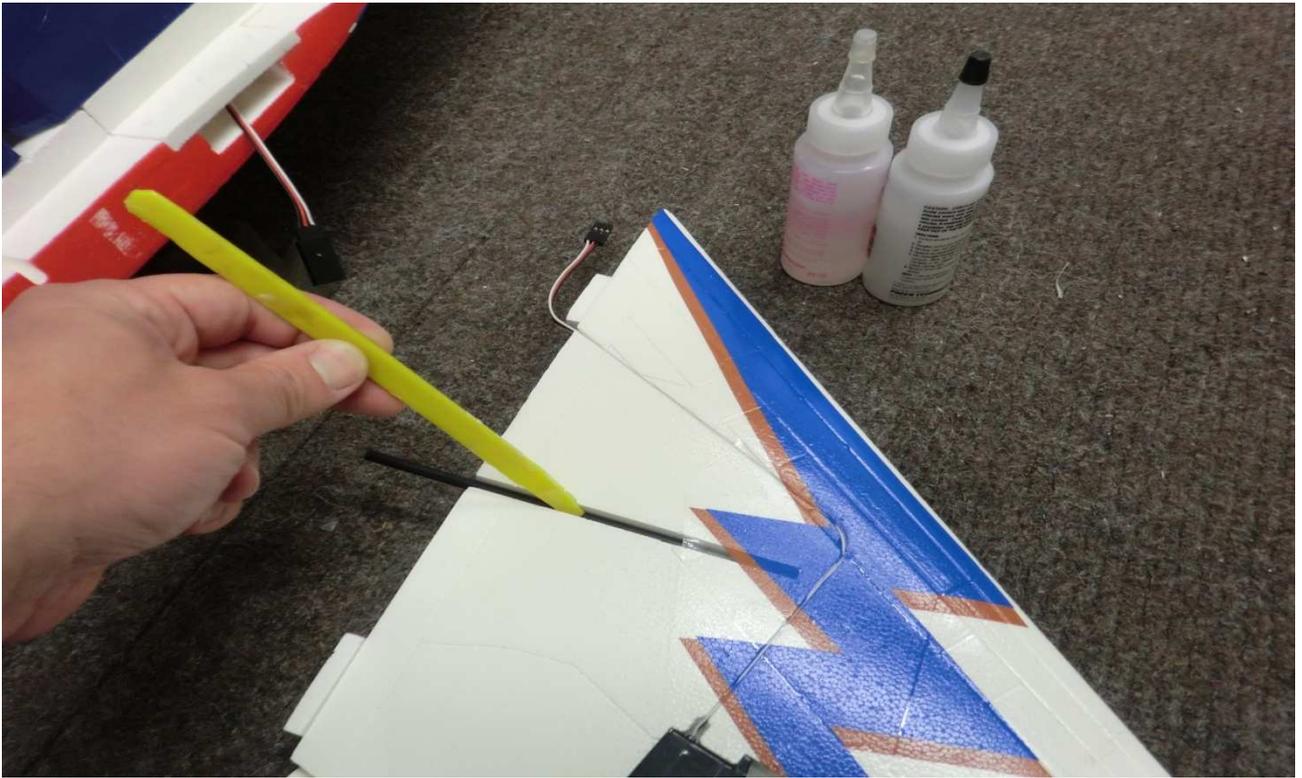
各パーツをビニール袋から取り出し保護材を取り外します。



胴体からキャノピーを取り外します。



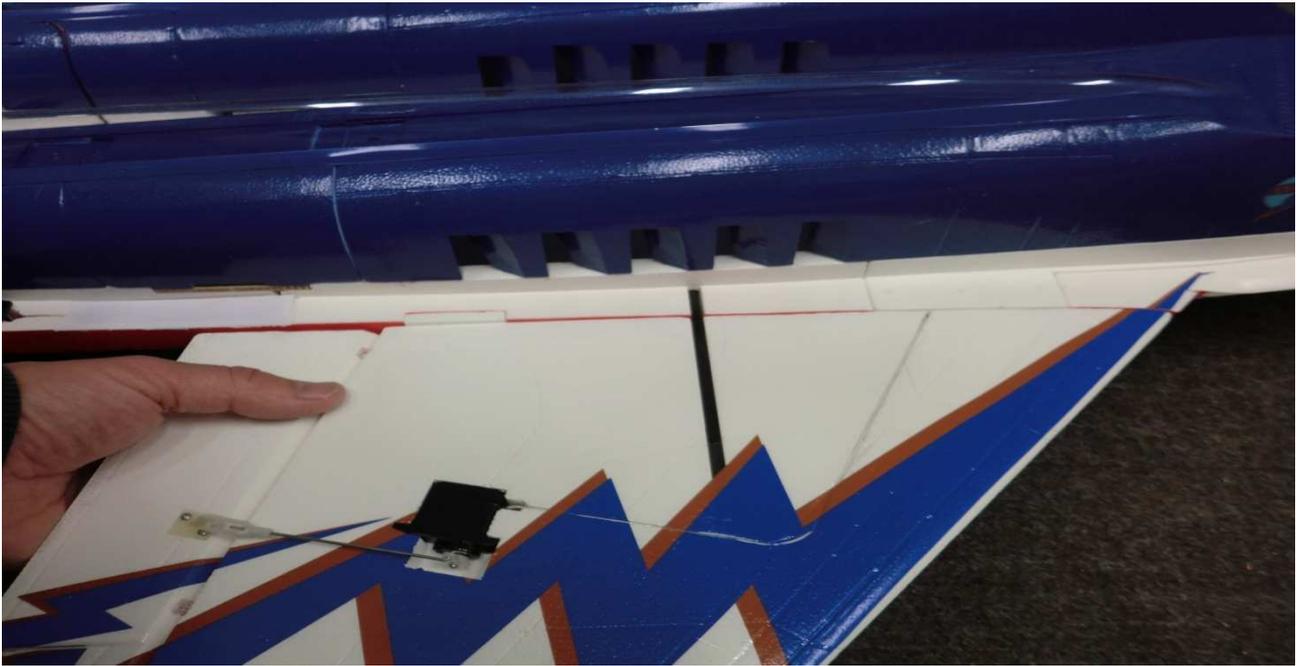
ハードウェアパックに入っているカーボンロッドをウイングの溝にうまくフィットするか確認します。



5 分間エポキシを溝に塗りこみ、カーボンロッドを差し込みます。



極性に気をつけてサーボコネクタを接続します。



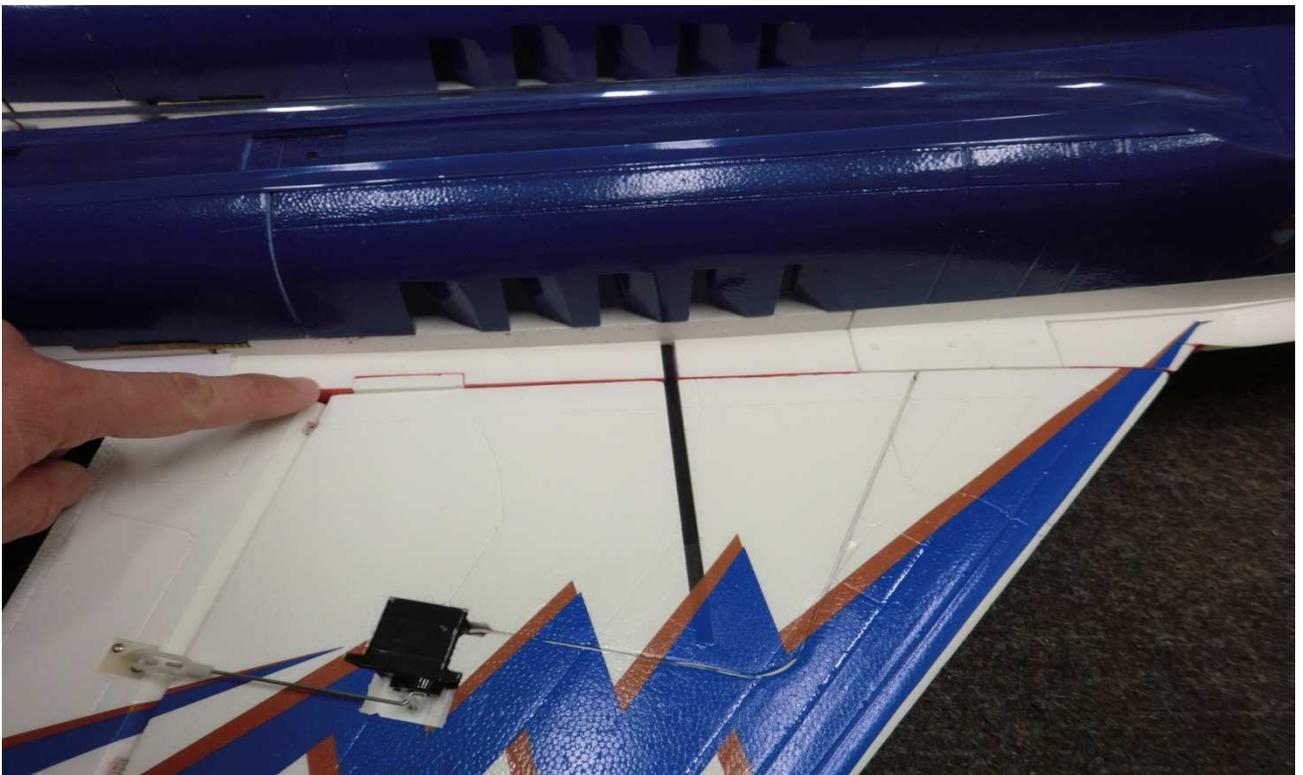
接着前に胴体と主翼パネルがフィットするか確認します。

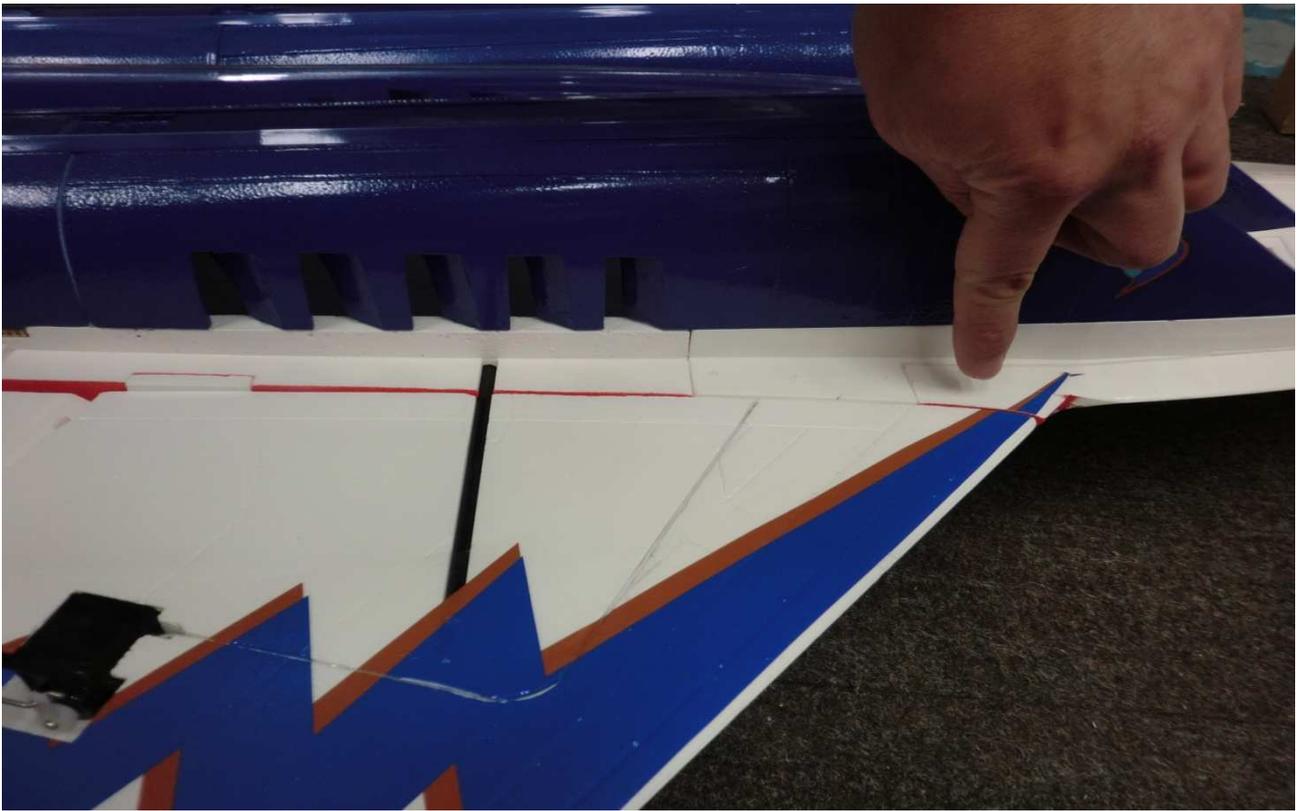


5 分間エポキシを主翼ルートエンドに塗布します。



主翼パネルを胴体の所定の位置にはめ込みます。

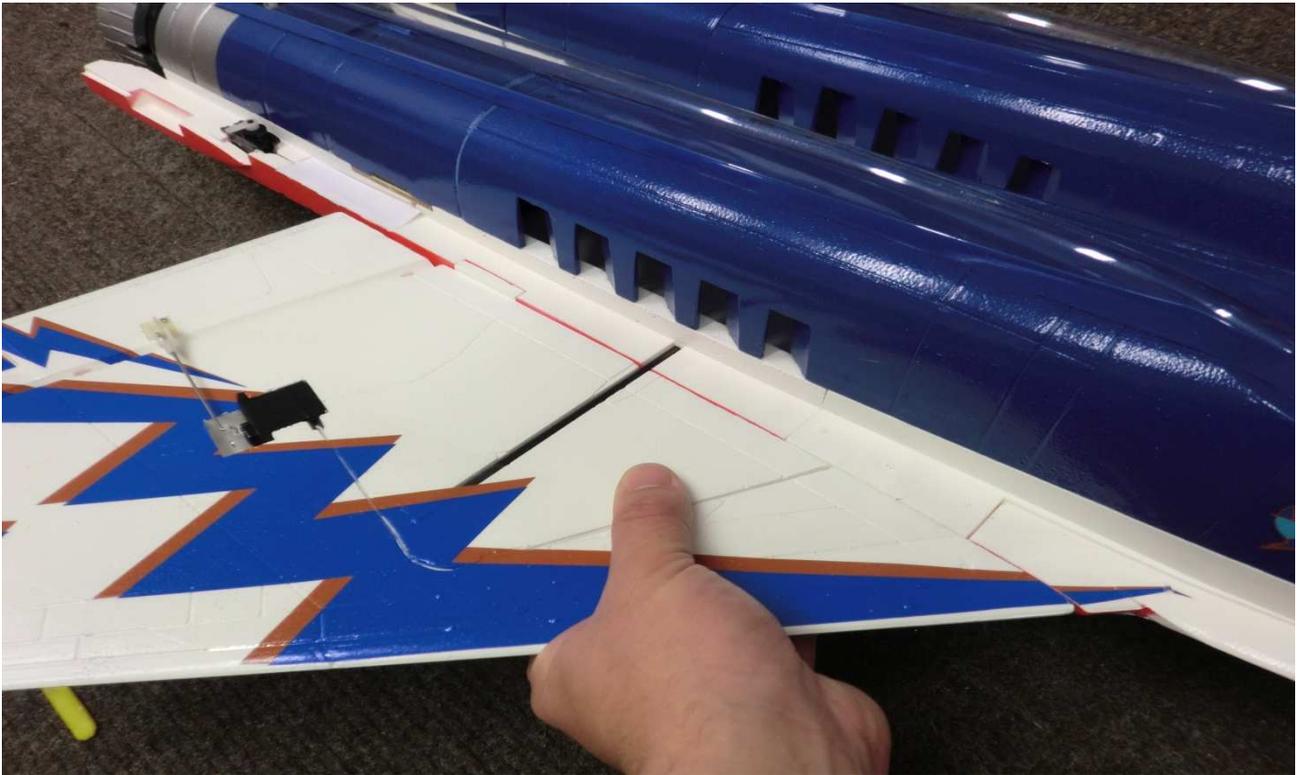




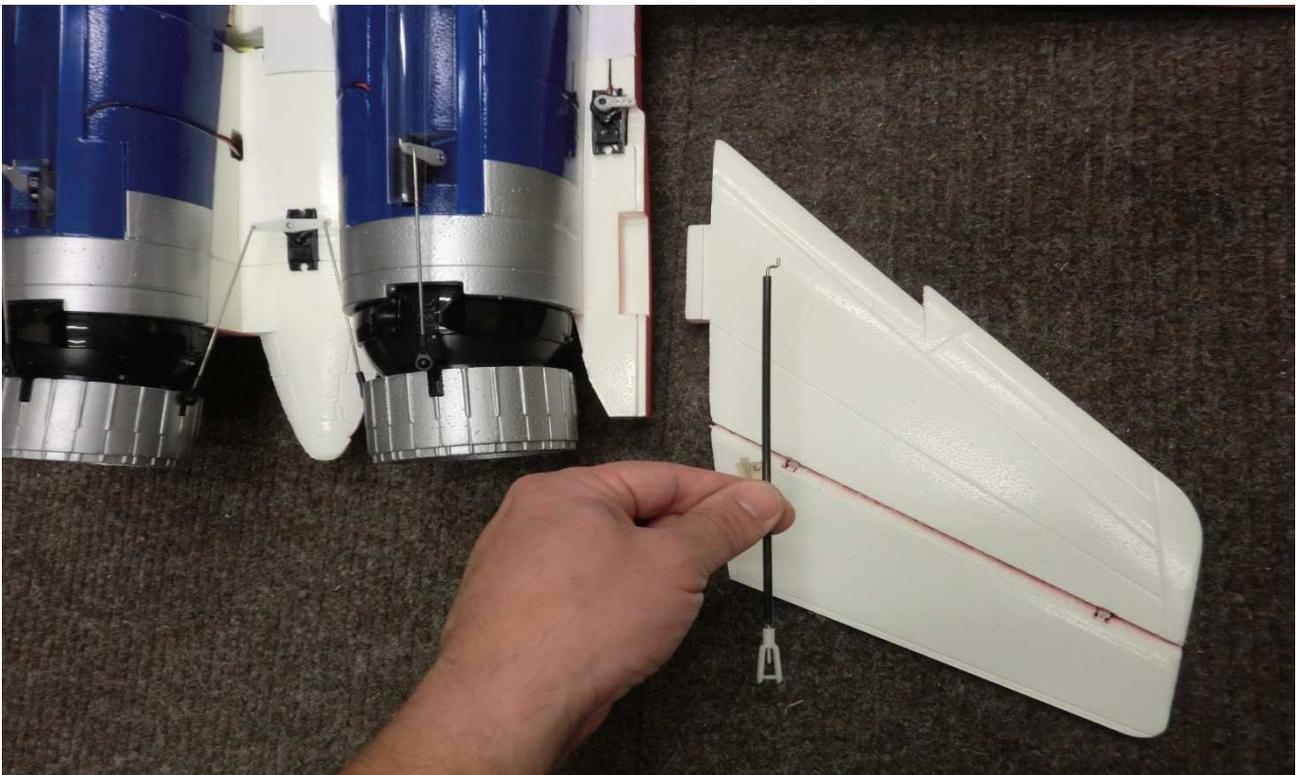
胴体と主翼パネルの面がうまくあっているか確認します。



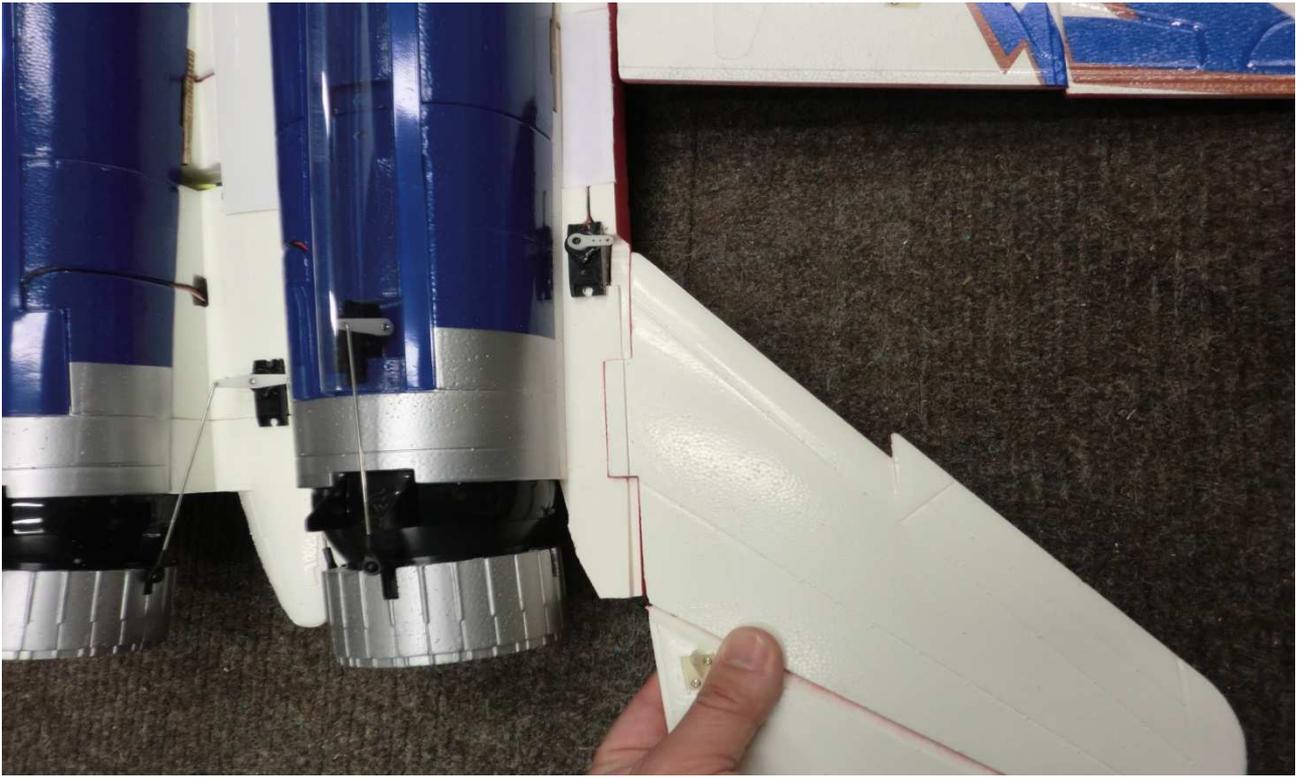
アルコールを浸みさせたペーパータオルなどで余ったエポキシを吹取ります。



主翼パネルを胴体に押し付けながらエポキシが乾くのを待ちます。もう一方の主翼も同様に接着します。このとき前や後ろから見て左右の主翼が水平に接着されているか確認してください。



ハードウェアパックからエレベーター用リンクージロッドを取り出します。



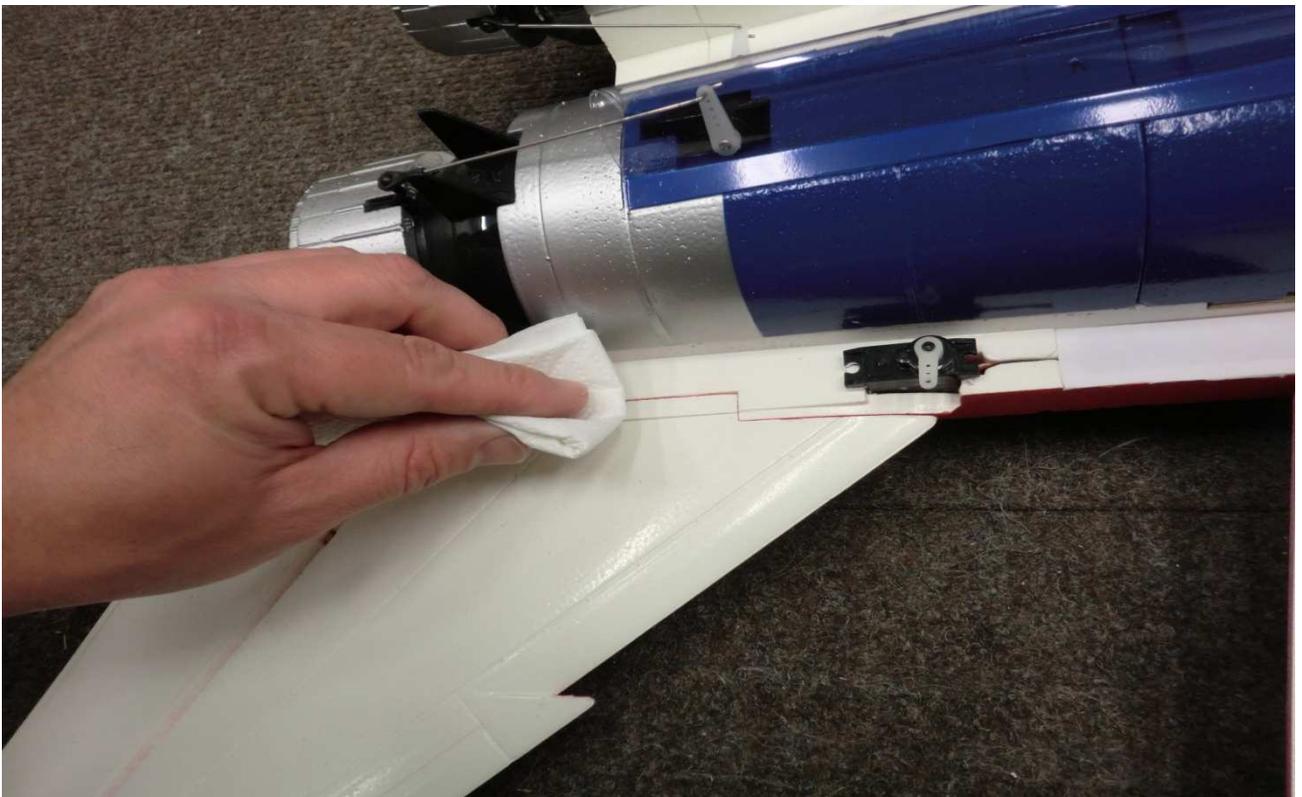
水平尾翼を接着する前に胴体によくフィットするか確認します。



5 分間エポキシを水平尾翼ルートエンドに塗布します。



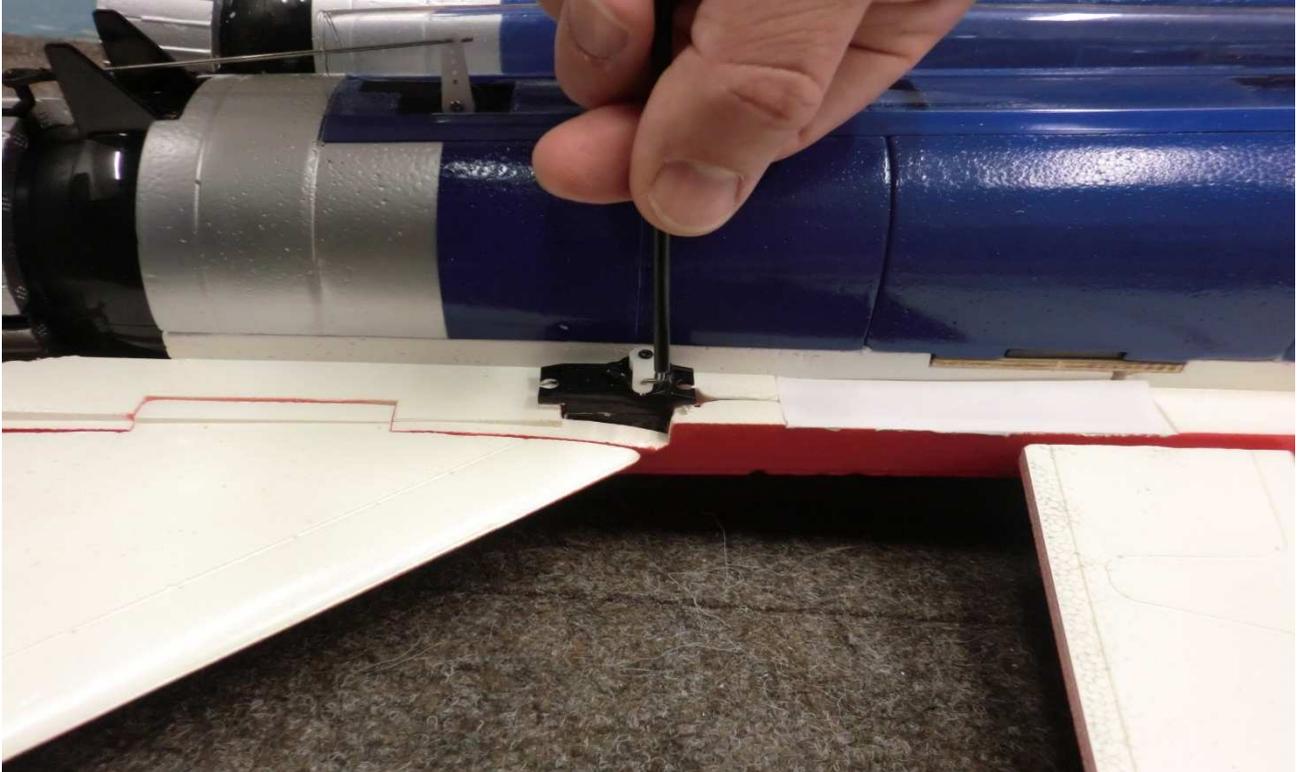
水平尾翼を胴体の所定の位置に差し込み、面があっているか確認します。

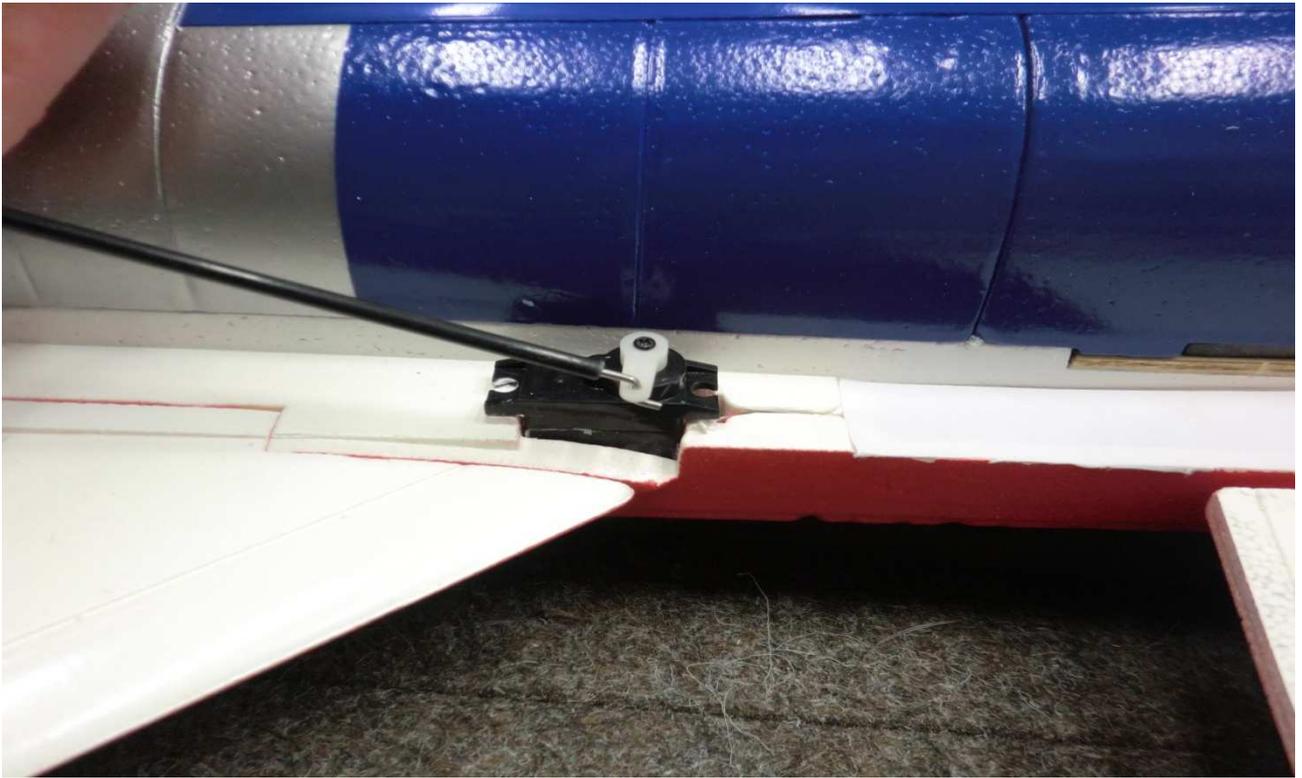


アルコールをつけたペーパータオルなどではみ出たエポキシをふき取ります。

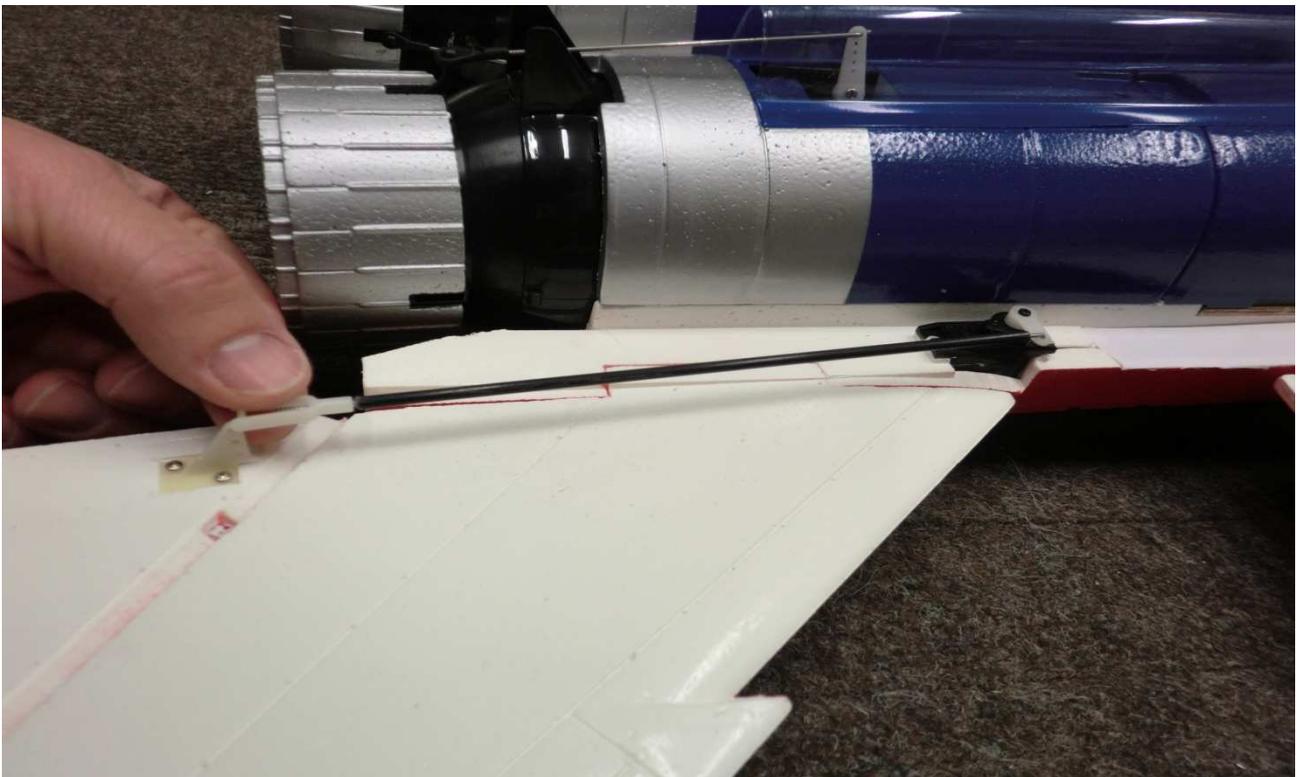


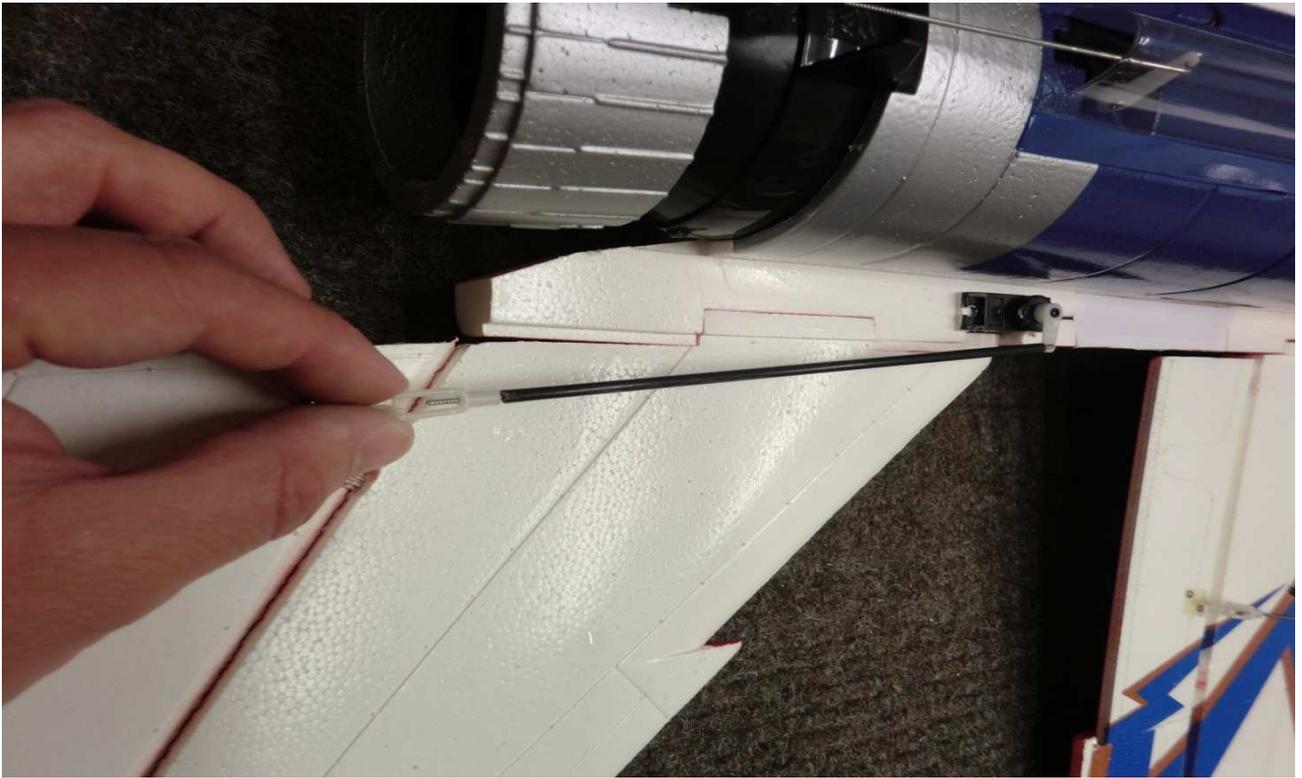
エポキシが乾くまで手で押さえます。





付属のエレベーターリンクージロッドをサーボに接続します。





エレベーターホーンにロッドを接続します。もう一方のエレベーターも同様に作業を行います。



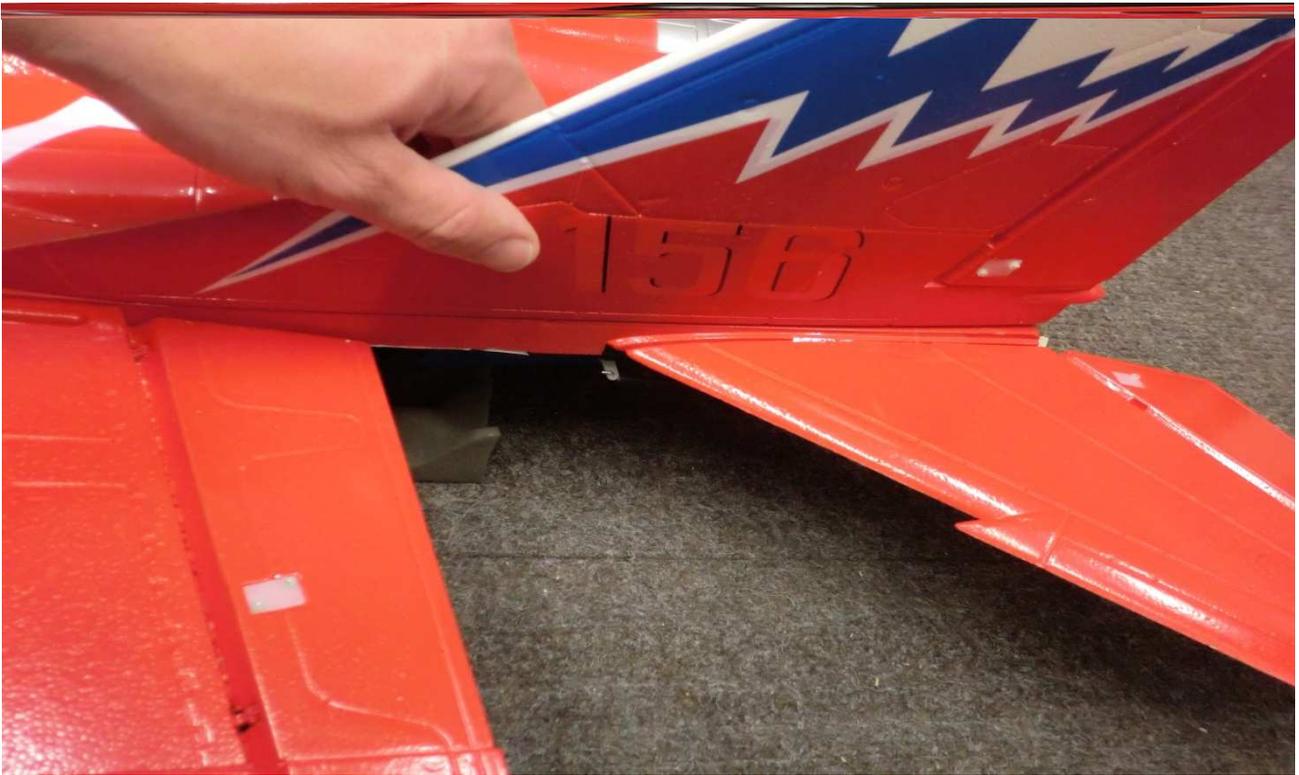
極性に注意してラダーサーボコネクターを接続します。



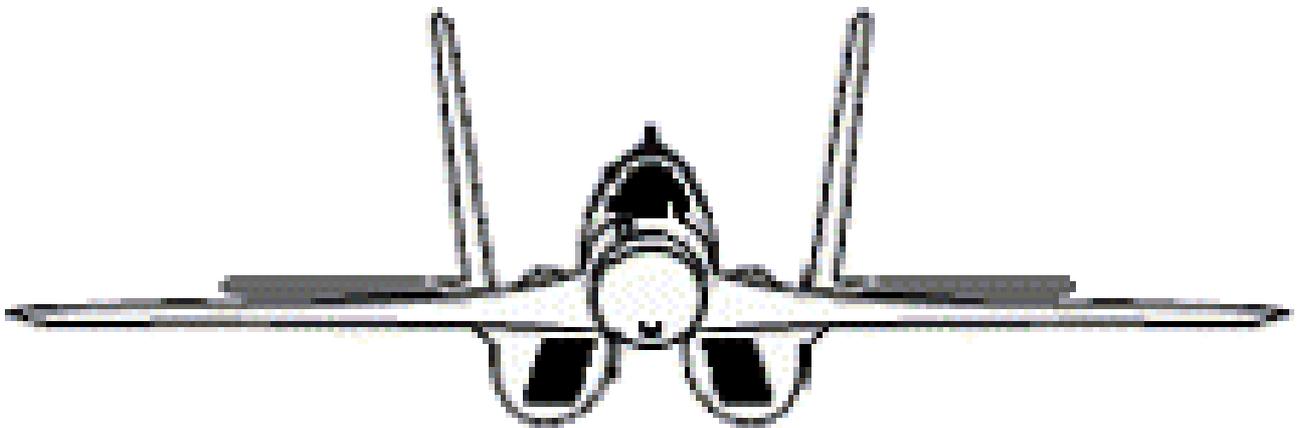
5分間エポキシを塗布してから角度や向きに注意してラダーを胴体の所定の位置にはめ込みます。



アルコールで湿らせたペーパータオル等で余分なエポキシをふき取ります。



エポキシが固まるまで手で押さえておきます。もう一方のラダーも同様に取り付けます。



注意:主翼、水平尾翼、垂直尾翼の関係は正面から見ると上図のようになります。



5分間エポキシでノーズコーンを胴体に取り付けます。

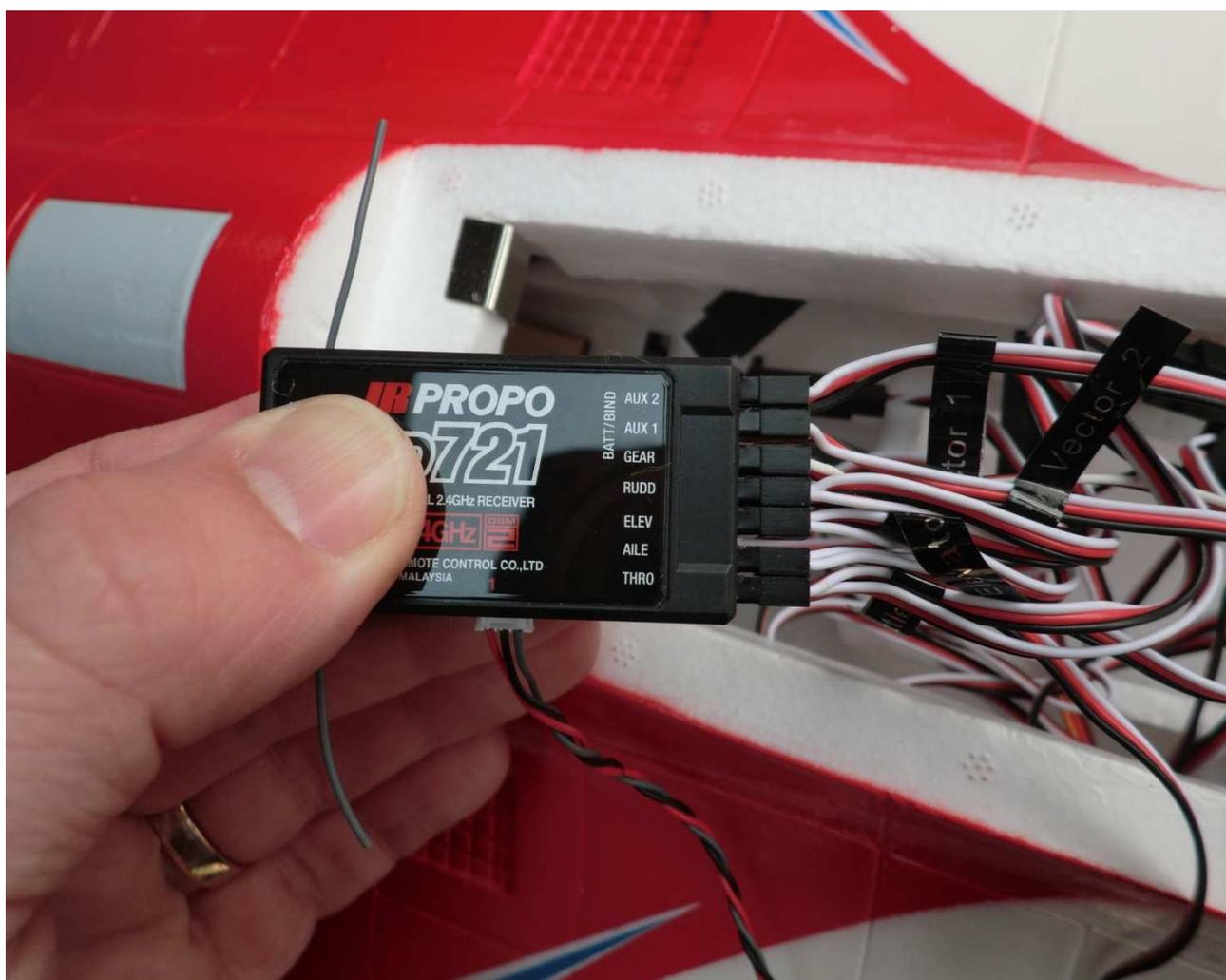


アルコールで湿らせたペーパータオル等で余分なエポキシをふき取ります。

## プロポの設定

胴体中央部に集められているコネクタを受信機に接続します。コネクタにはそれぞれタグがつけられていますので間違いないように接続してください。入れにくい場合はコネクタの角を少しだけカットしてください。なおケーブルが非常に細いので細心の注意を払って作業してください。

- **throttle = THROTTLE**
- **aileron = AIL**  
付属のYハーネスを使って2個のエロンコネクタを接続します。
- **elevator = ELE**
- **rudder = RUDDER**  
2つのラダーとセンターのEDFラダーサーボがこのチャンネルに接続されます。
- **gear = GYRO SENS.**  
ジャイロ搭載済みセットの場合はこのチャンネルに接続します。
- **aux 1 = VEKTOR 1**
- **aux 2 = VEKTOR 2**





付属のベルクロを使って受信機を胴体内側(バッテリーコンパートメントの外側)に貼り付けます。ケーブルが多いので無理をせずきれいのまとめながら作業してください。

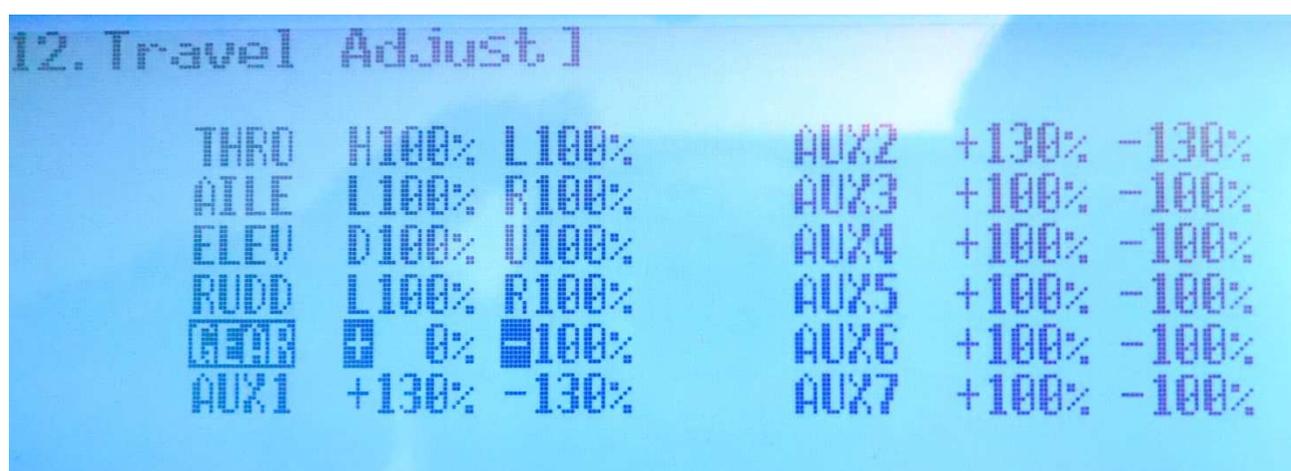
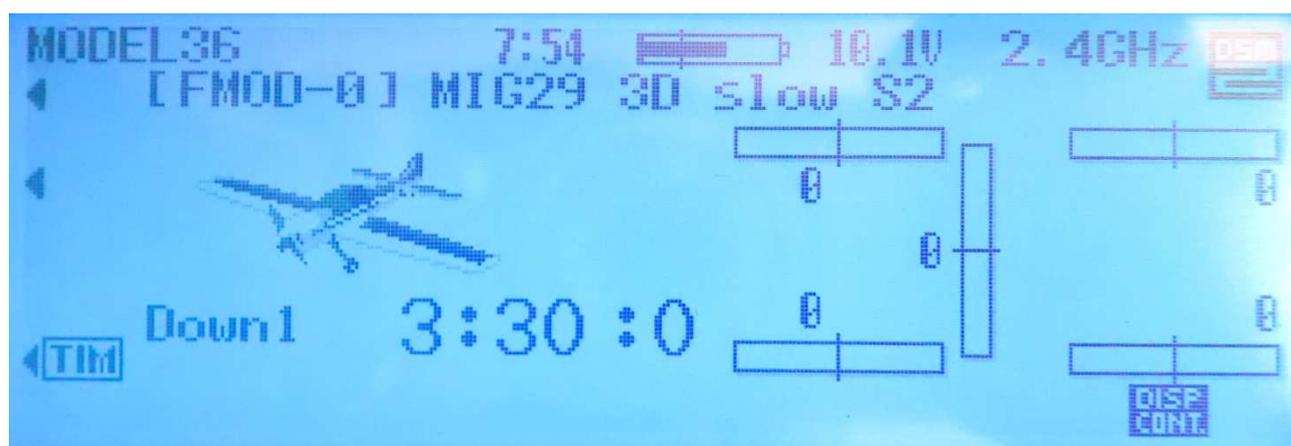


4S3400-4000ミリのリポをバッテリーコンパートメントの一番後ろに固定します。ベストフライトパフォーマンスのために重心位置は極めて重要でそのためにも350-450gのリポパックを使用してください。

推奨重心位置は主翼前縁から135mm付近です。念のため胴体下面に重心位置マークが張られていますので絶対に守ってください。

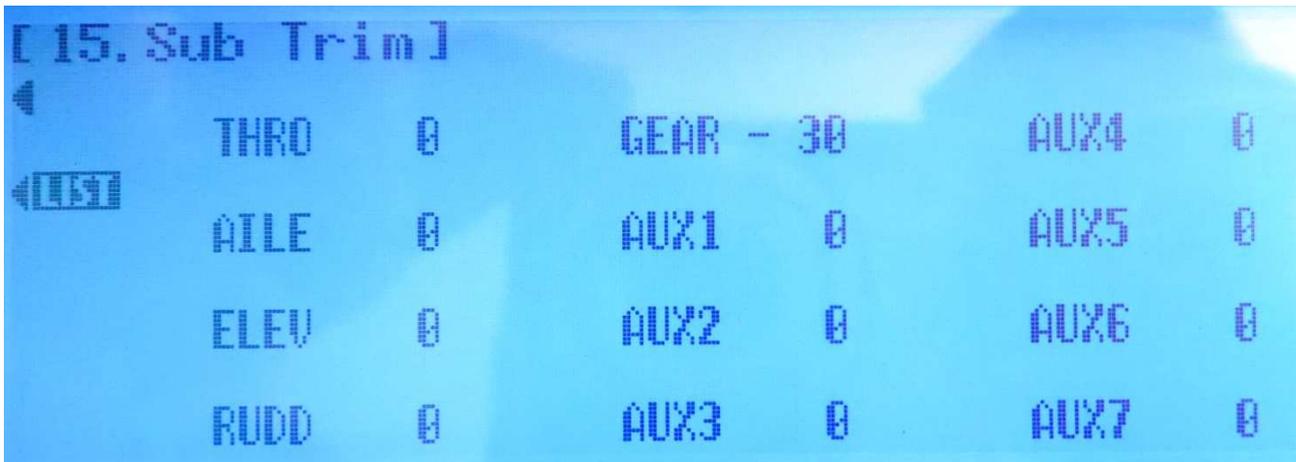


## JRプロポを使ったプログラム事例



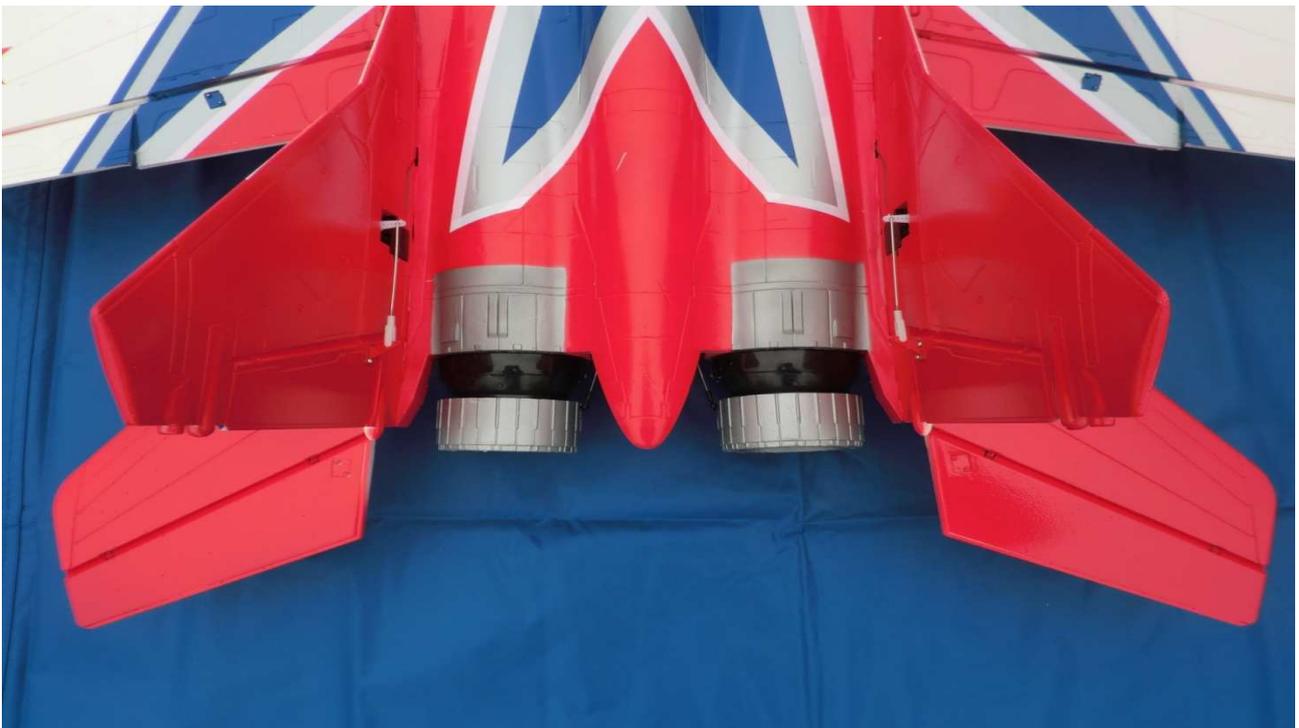
新しいモデルを用意してまず上記のようにセットしてください。

注意:GEAR チャンネル = GYRO SENSibility の一方は必ず 0 にする必要があります。  
なぜならジャイロを使うか使わないかの2つのモードをこのギアチャンネルで切り替える  
からです。また写真ではエレベーターCh がリバースになっていますが誤りです。

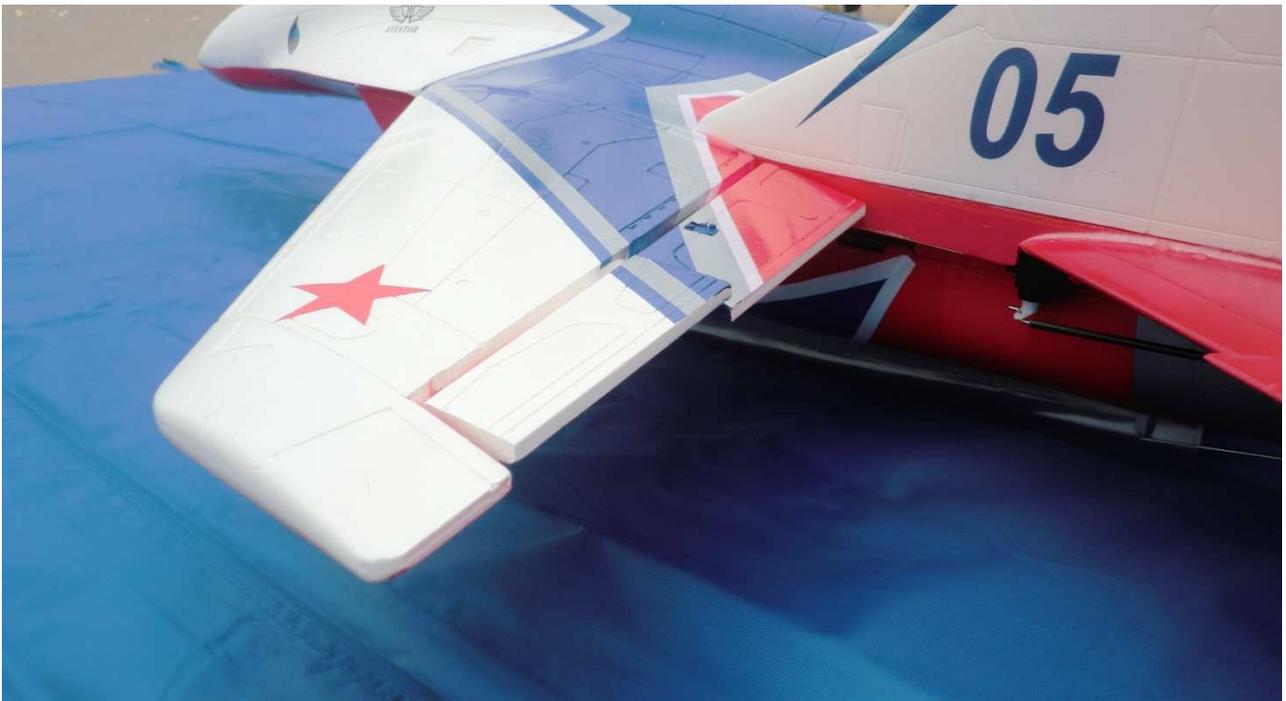


注意： GEAR チャンネル= GYRO SENSibility のサブトリムを-30 にセットしてください。  
これでシステムをオンにしたときにすぐに機能するようになります。

**重要：**バッテリーパックを接続した後10秒ほどは機体に触れないでください。この間にジャイロは起動準備をします。準備完了になると赤いライトが点灯します。



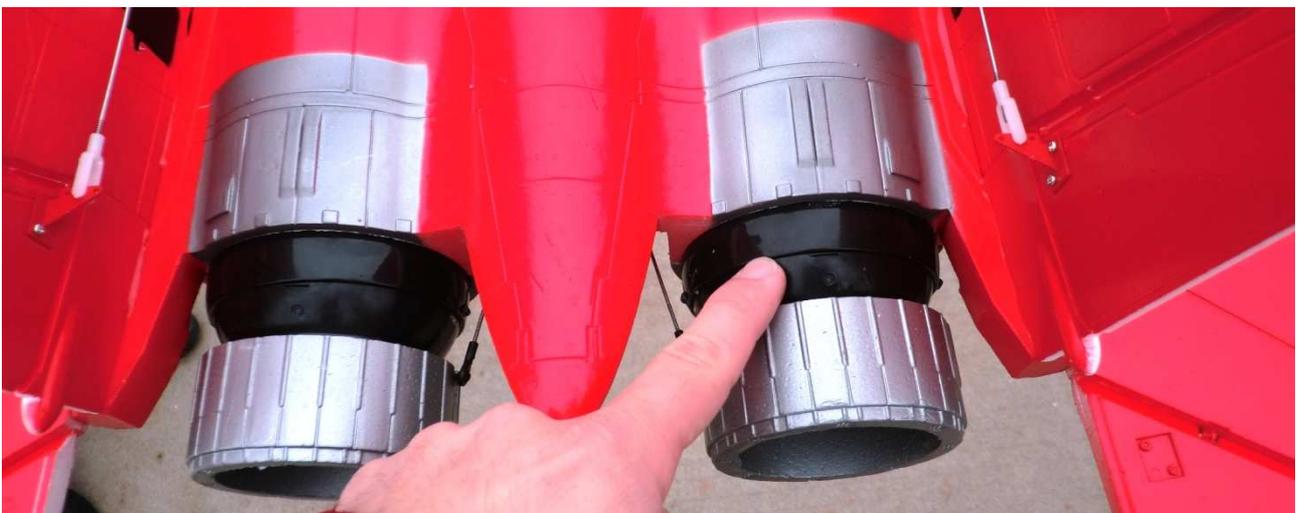
ラダーチャンネルのサブトリムを使って胴体下中央のスラストラダーサーボをニュートラルにします。このとき2個のダクトはそれぞれ5度くらい外側に向くはずですが、この状態で左右のラダーがニュートラルになっていない場合はリンケージで調整してください。  
**注意：**ラダーチャンネルに接続された2つのラダーサーボとスラストラダーサーボはどのフライトモードでも常に一緒に動作することになります。



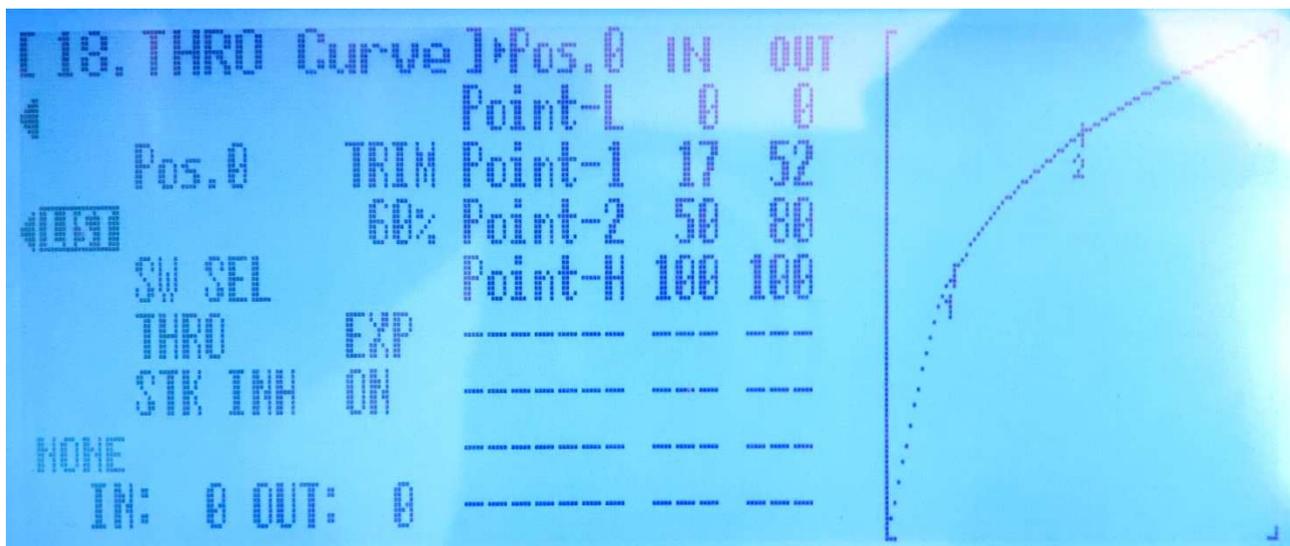
エルロンチャンネルのサブトリムを使ってエルロンサーボのセンターを出します。エルロンチャンネルはフラップにリンクされていますのでフラップをセンターに合わせると外側にあるエルロンは実機と同じように必ずアップになります。左右のフラップ、エルロンが同じ位置にくるか前後左右から見て確認してください。もちろんフラップとエルロンは長いエルロンのように一緒に動作します。



エレベーターのサブトリムを使ってエレベーターのセンターを出します。もし左右が合わなければ一方のリンクージの長さを調節して合わせてください。



AUX1 と AUX2 のサブトリムを使ってダクトの水平位置をマークされたニュートラルラインに合わせてください。



スロットルレスポンスを高めるために上記のようにスロットルカーブの設定を行います。  
 なおポイントの付加はプロポのマニュアルを参照ください。

**注意:**3つのフライトモードを設定します。



Pos 0 = ノーマルフライト(舵角は少なめです)  
 (この例ではエルロン D/R スwitchの0に設定)



Pos 1 = 最大舵角でのフライト（手投げスタート、着陸、ジャイロオフ・フラットスピ）  
（この例ではエルロン D/R スイッチの 1 に設定）



Pos 2 =最大舵角でのフライト。（ジャイロを使った3D、ホバリングなど）  
（この例ではエルロン D/R スイッチの 2 に設定）

下の画面コピーに従って3つのフライトモードにおけるエルロン、エレベーター、ラダーそれぞれのデュアルレート、エクスポを設定してください。

[ 13. D/R & EXP ] ▶Pos0		CURVE TYPE		AUTO	
	<D/R>	<EXP>	<D/R>	<EXP>	
Pos0	66%	LIN	Pos3	100% LIN	FM-0: Pos0
	66%	LIN		100% LIN	FM-1: Pos1
Pos1	100%	+ 40%	Pos4	100% LIN	FM-2: Pos2
	100%	+ 40%		100% LIN	FM-3: SW
Pos2	100%	- 60%			FM-4: SW
	100%	- 60%			

舵角は100%で左右とも35度上下

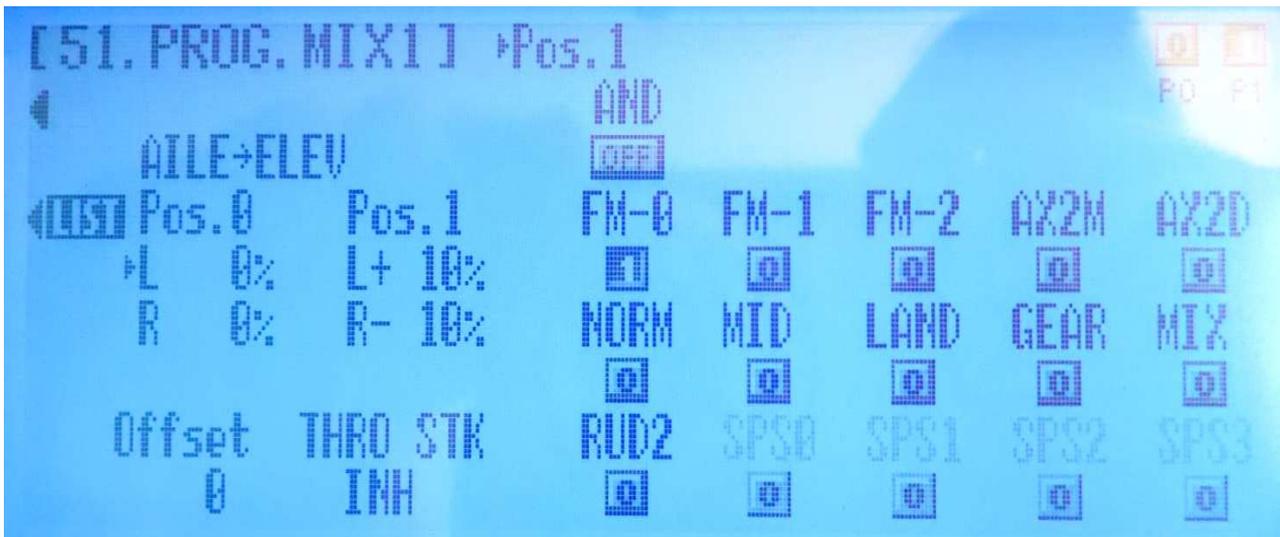
[ 13. D/R & EXP ] ▶Pos0		CURVE TYPE		AUTO	
	<D/R>	<EXP>	<D/R>	<EXP>	
Pos0	100%	+ 30%	Pos3	100% LIN	FM-0: Pos0
	80%	+ 40%		100% LIN	FM-1: Pos1
Pos1	100%	+ 30%	Pos4	100% LIN	FM-2: Pos2
	100%	+ 50%		100% LIN	FM-3: SW
Pos2	100%	LIN			FM-4: SW
	100%	LIN			

舵角は100%で40度上下

[ 13. D/R & EXP ] ▶Pos0		CURVE TYPE		AUTO	
	<D/R>	<EXP>	<D/R>	<EXP>	
Pos0	60%	+ 30%	Pos3	100% LIN	FM-0: Pos0
	60%	+ 30%		100% LIN	FM-1: Pos1
Pos1	100%	+ 50%	Pos4	100% LIN	FM-2: Pos2
	100%	+ 50%		100% LIN	FM-3: SW
Pos2	100%	- 30%			FM-4: SW
	100%	- 30%			

舵角は100%で左右30度

## ミキシング設定



### エルロン・エレベーターミキシング

Pos 0 (ノーマルフライト) でこのミキシングを ON

Pos 1 (フルレート) でこのミキシングは OFF.

Pos 2 (3D とホバリング) でこのミキシングは OFF.

エルロンを左右にフルで切った時エレベーターが 10%ダウンになります。

このミキシングは軸の通ったロールを行うときに有効です。



### エレベーター・AUX1 ミキシング

Pos 0 (ノーマルフライト) ではこのミキシングは OFF.

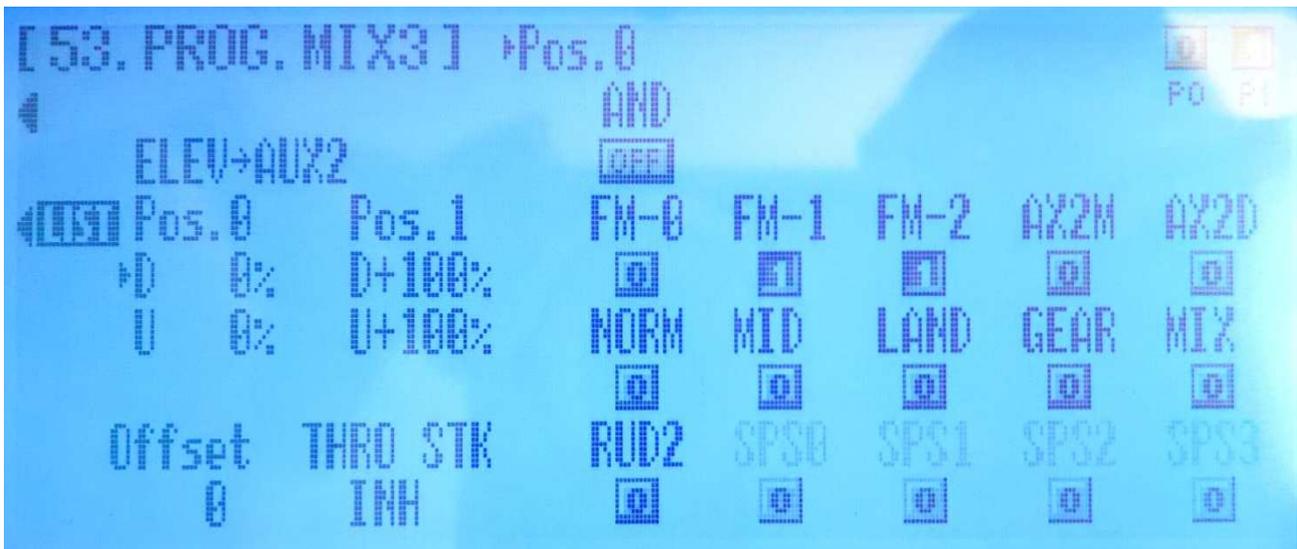
Pos 1 (フルレート) でこのミキシングは ON.

Pos 2 (3D またはホバリング) でこのミキシングは ON.

エレベーターフルアップでダクト1が 100%アップ

エレベーターフルダウンでダクト1が 100%ダウン

このミキシングは3Dフライトには欠かせないものです。



### エレベーター・AUX2 ミキシング

Pos 0 (ノーマルフライト) ではこのミキシングは OFF.

Pos 1 (フルレート) でこのミキシングは ON.

Pos 2 (3D またはホバリング) でこのミキシングは ON.

エレベーターフルアップでダクト 2 が 100%アップ

エレベーターフルダウンでダクト 2 が 100%ダウン

このミキシングは3Dフライトには欠かせないものです。

ミキシング2と3の結果を下記の写真を見て確認してください。





### エルロン・AUX1ミキシング

Pos 0 (ノーマルフライト) ではこのミキシングは OFF.

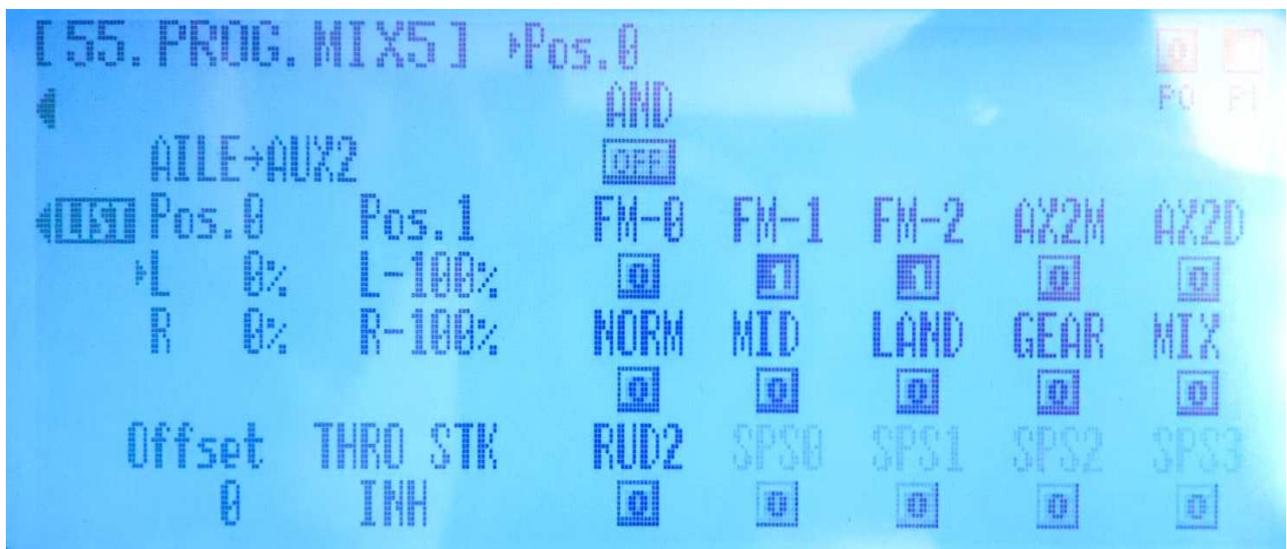
Pos 1 (フルレート) でこのミキシングは ON.

Pos 2 (3D またはホバリング) でこのミキシングは ON.

右フルエルロンでダクト1が 100%アップ

左フルエルロンでダクト1が 100%ダウン

このミキシングは3Dフライトには欠かせないものです。



### エルロン・AUX2ミキシング

Pos 0 (ノーマルフライト) ではこのミキシングは OFF.

Pos 1 (フルレート) でこのミキシングは ON.

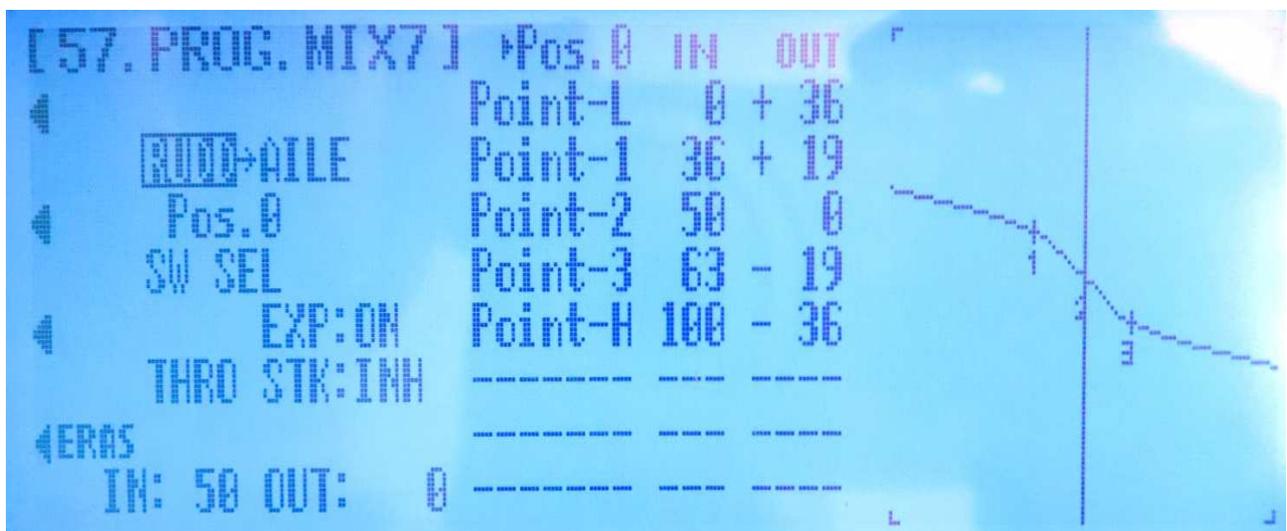
Pos 2 (3D またはホバリング) でこのミキシングは ON.

右フルエルロンでダクト2が 100%ダウン

左フルエルロンでダクト2が 100%アップ

このミキシングは3Dフライトには欠かせないものです。

ミキシング 4 と 5 の結果を下の写真で確認してください。



### ラダー・エルロンミキシング

Pos 0, 1, 2 で常にこのミキシングは ON.

右ラダーでエルロン左 36%

左ラダーで エルロン右 36%

ナイフエッジに有効なミキシングです。

## ジャイロ設定(ギアチャンネル)



ジャイロミキシングを可能にします。



Pos 0 (ノーマルフライト) でこのミキシングは OFF.

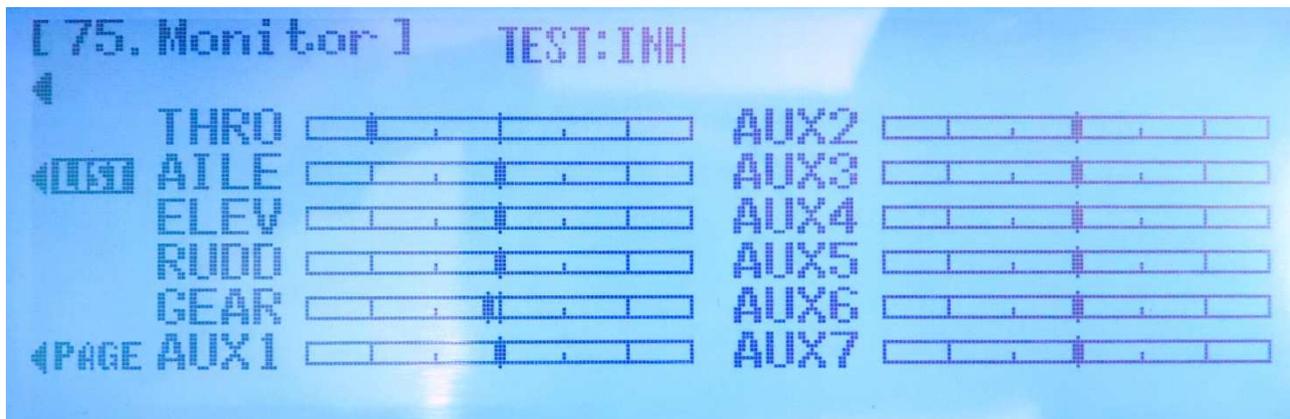
Pos 1 (フルレート)でこのミキシングは OFF.

Pos 2 (3D とホバリング) でこのミキシングを ON.

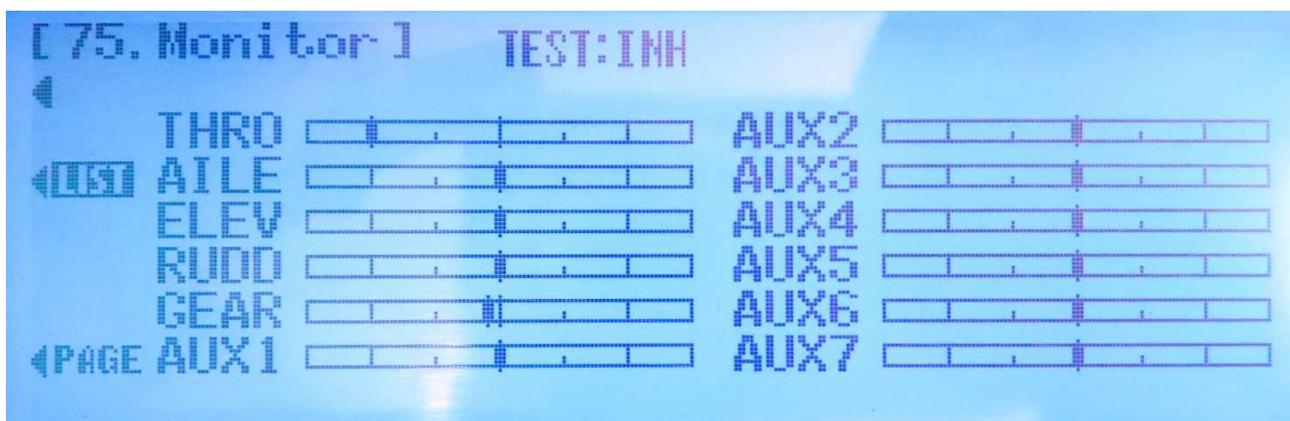
このミキシングでホバリングがやりやすくなります。

ジャイロミキシング(ギアチャンネル)の確認をしてください。

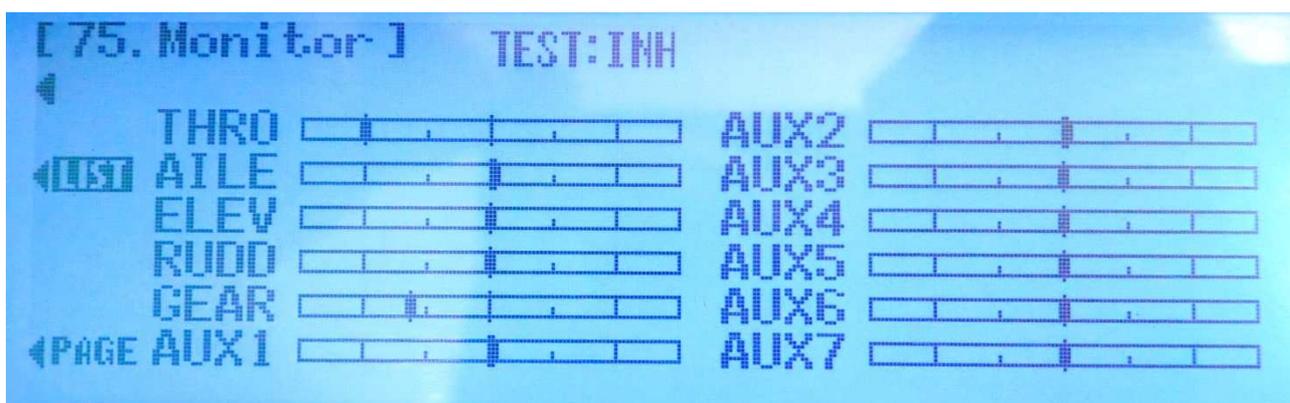
Pos 0 (ノーマルフライト)ではジャイロミキシングは OFF.



Pos 1 (フルレート) でもジャイロミキシングは OFF.



Pos 2 (3D やホバリング)でこのミキシングが ON になっています.



注意: ギアチャンネルは 50%の位置にきます (サブトリムで+30)

**SEBART International S.r.l.**

Via L. Tabellone, 1

47891 Rovereta - Repubblica di San Marino (RSM)

[www.sebart.it](http://www.sebart.it)

総販売代理店:株式会社リトルベルランカ

〒160-0008 東京都新宿区三栄町 28-3

Tel 03-6457-4808 [info@little-bellanca.com](mailto:info@little-bellanca.com)

[www.little-bellanca.com](http://www.little-bellanca.com)